

斎藤月岑編『増補浮世絵類考』(ケンブリッジ本)

() は割註・ は書入れ・「」は見せ消ち

歌川豊広

生涯役者画をかゝず

彩色摺
江戸名所
福茶番

実子

豊清

俗称 金蔵
号(空白) 斎

豊清尤上手也 にしき画草双紙読本一二部あり
早世して可惜にあらずや
糸桜春蝶奇縁 馬琴作

女子

他へ嫁す

実子

豊熊

俗称 熊吉
豊広の実孫

門人

広昌

駿州沼津宿大平屋某 錦絵二三種あり

広重

八重州河岸定火消屋敷同心 近藤徳太郎 後十兵衛
狩野家をも学ぶ 文政の頃より天保の今にいたる迄
専ら画く錦画草双紙多し 分て近頃五十三次の錦画
画を工夫し 夫より江戸名所続画等数多出して 世
に行われたり 写真の魚鳥草花もよし

広恒

広政